

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援いんくる			
○保護者評価実施期間	2025年9月15日		～ 2025年10月15日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2025年9月15日		～ 2025年10月15日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○訪問先施設評価実施期間	2025年9月15日		～ 2025年10月15日	
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	8	(回答数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援員は、障害児支援についての熱意や知識、経験を有している。 ・訪問支援員は、保育士、公認心理師、言語聴覚士、社会福祉士などの国家資格を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援ツールを作成している。 ・アセスメントを丁寧に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援員の更なるスキルアップを図るため、研修参加や自己研鑽を行っていききたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所は山口市の中心部に立地し、訪問先の保育施設等へのアクセスが容易である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山口市は市域が広く、遠方の方は児童発達支援のサービス利用が難しいため、保育所等訪問支援事業で優先的に対応している。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が通う園や家族との情報共有や連携を密にしている。 ・家庭や園との振り返りを丁寧に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が通う園の取り組みや方針に合う方法で支援を行っている。 ・保護者と園との橋渡しを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所とも連携を図り、児童や保護者の意向を十分に踏まえて支援を行っていききたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援を希望する児童が多く、ニーズに応えきれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援員は、児童発達支援事業との兼務で配置しているため、訪問できる日が限られており、すべてのニーズに対応できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員体制や職員配置の見直しを行い、少しでも多くのニーズに応えていききたい。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 こども発達支援いんくる

公表日 2025年12月26日

利用児童数 10人

回収数 6人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4			2		・教具や教材は持参することが多いですが、報告の際にどのような教具等を使用したかお伝えすることにします。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	6					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	6					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6					
適切な 支援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	5			1		
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6				いつも細かく見ていただき感謝しかありません	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	4			2	園の先生と一緒に考えてくださり、安心できます。	
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4			2		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	6					
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	4	1		1		
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	5	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	5			1		

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	6				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	5		1		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	1	2		・ホームページで情報発信をしています。今後、内容の充実を図っていきたいと考えています。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3		3		・緊急時の対応については、訪問先施設の手順に従って対応するようになります。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5		1		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	6			・毎回とても楽しみにしています。可能であれば利用回数を増やしたい。	
	28	事業所の支援に満足していますか。	6				

事業所名			公表日			
こども発達支援いんくる			訪問先施設数 8か園 回答施設数 8か園			
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	8			・特性を的確にとらえた支援で多くの学びを得ている。 ・実践可能な具体的な支援方法を教えてもらうことができ、取り組みやすかった。 ・保育の環境構成等を考える機会となっている。 ・集団の中での様子やなぜそのような行動に至ったか等、丁寧に説明していただき、保育や関りに生かすことができている。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	8			・紹介いただいた支援ツールを取り入れ、園でのかわりがより楽しくなった。 ・子どもの行動の背景にある理由や変化を言語化してもらい理解しやすかった。 ・集団保育と違った視点もあることで、とても刺激になっています。 ・保育の様子を観察され、どのような支援があるとより良いのか伝えてもらい勉強になっている。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	8			・視覚的支援や活動の組み立てで悩んでいたが具体的な支援案の提案をいただき助かった。 ・保育者が悩んでいることに寄り添ってもらうことができ、安心して質問できた ・限られた時間内ですが、適時、適切に対応していただいている。 ・事業所での様子や関り方などを一つひとつ丁寧に回答していただいている。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	8			・家庭との連携に不安があったが、保護者の様子を踏まえた助言をいただき、自信をもって関われるようになった。 ・保育で試行錯誤する中で、その都度具体的な取り組みを示していただき、ありがたかった。 ・支援が必要な子どもに対しての、支援の仕方の幅が広がっている。 ・療育機関と園とで困りごとや情報共有ができてよいと感じる。 ・園での課題にも一緒に向き合っていたで、園と機関と家庭とで同じ方向性を持つことができているありがたい。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	8			・助言を元に関わる中で、成長を感じられる場面が増え嬉しく感じている ・訪問の記録をわかりやすくまとめてもらい、保護者の意向も知ることができよかった。 ・園だけでは気づけない成長や困りごとなどが共有できて、日々のかかわりに生かされているので、とても満足している。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
・集団活動が苦手な児童に対してトークンを活用した支援など多くの助言をいただいております。集団での活動ができるようになったり、一緒に活動することが楽しいと感じられるようになった。 ・継続的に訪問していただくことで訪問支援員との関係を築くことができ、子どもの支援に関する相談等を遠慮なく行うことができるようになった。専門機関の立場から意見や助言等を適宜いただけることは職員の不安の軽減につながっている。 ・園と保護者の意見をつないでいただけるので、保護者の気持ちがよく理解できたり、コミュニケーションがとりやすく助かっている。 ・こども、保護者に常に寄り添っていただき感謝しています。学校だけでは解決できない課題も、チームとして対応することができ、より良い方向に向かっている。支援に限りがあると思いますが、日数が増えるとよい。 ・利用される方が多いからか、回数が多く、時間の確保が難しい。 ・訪問の際には、子どもの成長の確認とともに、保育者の良きかわりについても伝えていただき、自分自身が気づけなかった点にも気づくことができ、ありがたく感じている。そのうえで、今後の支援や見直し等について専門的な立場から助言がもらえるので、日々の保育やかかわりに生かすことができている。振り返りの時間をしっかりと作っていただけるので、とても感謝している。				・園によっては月3回程度訪問することもあり、ご負担をおかけしています。同一訪問日に複数のお子さんを支援するなど、ご負担にならないように工夫をしたいと考えています。ご意見やご要望等がありましたら、遠慮なくおっしゃってください。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年12月26日				
こども発達支援いんくる						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		・年齢や発達状況、児童の支援目標に応じて教材を準備している。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・訪問支援員は、児童発達支援事業と兼務のため、すべての利用希望に応えることが難しく、お断りすることがある。	・経験を有する訪問支援員を専任で配置できる水準の報酬となっていないため、ニーズにお応えできない状況になっている。実情を訴えていきたい。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保育所等訪問支援実施後は必ず保護者や事業所向けの報告書を作成しており、保護者の意向等は対面で報告する際に把握し、業務改善につなげている。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・今後、実施の検討を行いたい。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・研修の案内を周知しており、積極的に参加している。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・多機能事業所の強みを生かし、障害児相談支援事業所や児童発達支援の担当職員も必要に応じて参加をしており、共通理解を持ち支援にあたっている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・訪問先施設の担当者等の意向を尊重し、実現可能な提案等を行っている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・フォーマル（標準化された検査等）なアセスメントは参考にとどめており、児童の行動観察や保護者や保育機関職員の面接等によりアセスメントを実施している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	・打ち合わせは行っていないが、支援に関することを相談したり、情報を共有したりしている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	・打ち合わせは行っていないが、情報を共有している。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者の意向を確認したうえで、必要に応じて情報共有を行いたい。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・当事業所では家族支援プログラムを実施していないが、実施機関の紹介や家族向けの研修会の案内等は適宜情報提供を行っている。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		父母の会、保護者会はない。交流する機会を設けた場合は、その情報を周知したいと考えている。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
訪問先施設への	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・事業実施後は報告書を作成し、家族等と支援内容の共有を図っている。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		・ 支援開始前の事前の打ち合わせや支援開始後は毎回振返りを行っており、訪問先施設からの相談等にはその都度対応をしている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			・ 本事業は訪問型の支援であるため、訪問先施設の安全計画に従って支援を行っているが、事前の確認までは行っていない。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・ 保育所等訪問支援事業で身体拘束を行うことは考えにくいですが、もし実施の必要が生じた場合には、定められた手順等により、実施の検討を行う。	